

Avec le soutien de la Fondation pour l'Etude de la Langue et de la Civilisation Japonaise sous l'égide de la Fondation de France

*本プログラムは上記4機関からの助成を得て開催されるものです



柚野手漉き和紙工房

LES SAVOIR-FAIRE DU PAPIER EN FRANCE ET AU JAPON
CONNAISSANCE, USAGES ET CONSERVATION

日本とフランスにおける手漉き紙の技術 : その理解、使用、保存

日仏間共同会合 2011年9月12、13日



ムーラン・デュ・ヴェルジェ

Contact : savoirfairepapier@gmx.fr
Valentine Dubard et Tomoko Kawamura

日本とフランスにおける手漉き紙の技術：その理解、使用、保存
日仏共同会合 プログラム（仮）

2011年9月12日（月）

会場： Fondation Maison des Sciences de l' Homme
所在地： 190 avenue de France, 75013 Paris, France

- 14:00： 開催挨拶、本共同研究の紹介
ヴァレンティヌ・デュバル（紙本修復家）
川村朋子（山領絵画修復工房、紙本修復家）
- 14:10： 日本における伝統の永続性 ～無形文化財認定制度に関連して～
（増田勝彦、昭和女子大学大学院 生活機構研究科教授、製紙史および製紙法専門
、文化庁文化審議会文化財分科会専門委員）
- 14:50： 西洋の美術品修復における日本の技術の位置 ～和紙について～
（アンドレ・ル＝プラ、ルーヴル美術館 紙本作品修復室長）
- 15:10： 質疑応答
- 15:30： 休憩
- 15:50： 手漉き和紙の特徴のひとつ、とくに「打解」の工程について
（内藤恒雄、紙漉き師、静岡県 柚野手漉き和紙工房主宰）
- 16:30： 産業革命以前の紙素の作り方、「精製」の工程について
（ジャック・ブレジュ、紙漉き師、フランス、ピュイモワイヤン地方、ムーラン・デュ・
ヴェルジェ工房）
- 16:50： 洋紙の特徴「すかし模様」の事例
（アリアヌヌ・ドゥ＝ラ＝シャペル、ルーヴル美術館 紙本作品部研究員）
- 17:10： 各国で一般に採用されている、紙の分類の仕方について
（ジャン＝クロード・ルー、グルノーブルINPパゴラ国際製紙技術校およびグルノーブ
ル大学製紙工学教授、製紙原料の叩解精製技術が専門）
- 17:30： 質疑応答、閉会挨拶
ヴァレンティヌ・デュバル（紙本修復家）、
川村朋子（山領絵画修復工房、紙本修復家）
- 17:40： レセプション

2011年9月13日(火)

会場: Musée du papier, Angoulême

所在地: 134 rue de Bordeaux, 16000 Angoulême, France

14:00 アングレーム紙博物館 案内つき見学

15:00 フランスの伝統紙漉き場の現況

(ドゥニ・ポーセル、紙博物館学芸員)

15:30 日本で紙漉きのおかれている状況について ~その歴史と現在~

(増田勝彦、昭和女子大学大学院 生活機構研究科教授、製紙史および製紙法専門
昭和女子大学光葉美術館館長)

16:30 質疑応答、閉会挨拶

ヴァレンティヌ・デュバル(紙本修復家)

川村朋子(山領絵画修復工房、紙本修復家)

*各発表はフランス語または日本語で行われます

*日本語の発表および質疑応答には、逐次通訳がつきます

*フランス語の発表については、日本語訳のプリントをご用意します(ご希望の方に配布)